

福
道



三二一 下、一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
朝の空乃月影をぞちりと思ひ
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
庭ありしも雲井ハ花は摘むか
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
く飛玉の空をよやゆあきと
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
ちのきかあうま濃ち清く
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
サレ三三三
新晴うらうそ数行虞弋り海乃
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
雨乃あーをもし多の流ゆるは
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
虞心くくききたよわも那

あゝ溪止やい 潘沛のね乃雨
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
志きわたりしけりき寺の
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
あもやえひなよと歌く宮寺
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
涼燕の種乃あつ浦終のひるま
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
なまイロとふくう神さひんもは
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
海ふよ社頭をう花も燈もな
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
ひくめイロの静もゆえは神を

なまのまぢり 三言 あら勿神の

はるやあまをほ乃神と

もあまの御神乃

うもろとあつ馬とあま

清あハハリ 羊上 早ハハリ

は事おぬ社 羊上 は事のうち

いよも海ハ人 羊上 の 幾乃先の

うけよわみ 羊上 実もま

あま 羊上 と 青 神の

二柱 羊上 びき

か 羊上 社檀の

乃 羊上 江小乃

極 羊上 の 羊上 物

志 羊上 神前を 羊上 う

二二二

いぬきさくし 早詩 ねんはつりの成

人ぬき後まう 早詩 先ハ丸貫之

いそん 早詩 けいしんまうけいひ

い歌を談了神意はけを向うん

い神を伝ゆさうん 早詩 けい

えいさうきんめいさう 早詩 けい

今乃言葉能す神心 早詩 けい

かなふく 早詩 けい

雲の雲乃す神を 早詩 けい

あか 早詩 けい

かれも 早詩 けい

い 早詩 けい

い 早詩 けい

思ふ 早詩 けい

けしめぬ身にしふれも一は
おもぬけ哥をいふ神
うきくつ羨 半 ちしはよきぬ
しなれもがも **納交** 願の
しき **系** の言葉にあり雲
さし **早** なるわきくき **相** なる
あ **早** なるわきくき **相** なる

高 **高** なるわきくき **相** なる
允歌 **高** なるわきくき **相** なる
ち **高** なるわきくき **相** なる
わ **高** なるわきくき **相** なる
わ **高** なるわきくき **相** なる
か **高** なるわきくき **相** なる
か **高** なるわきくき **相** なる
か **高** なるわきくき **相** なる
か **高** なるわきくき **相** なる
か **高** なるわきくき **相** なる

はる所を歌ふわさづいしん
まきのうた乃——をを撰ひそ
いふあひをのく——君の代乃
いふあひをのく——ハぢわ
をりうおもはけさるるよ哥の心
いなほがあそ是もほそ私なり
人代よ及せまづ歌をこをいふ

下を

風俗長あ短歌旋頭濃春乃歌ひ
是なる新体一はよあそこ飛え
源流やま屋く志くは未乃花の
まきのうらひひみほのせえは
い乃あゆまきり私哥乃教なるぬ
まきのはらの歌りうらまを
あそこまはなるる神も納受の



